土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　江の川水系　下領家右下谷測量設計地質調査業務委託（通常砂防・公共）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-1-5	**調査位置**	広島県庄原市総領町下領家地内					**北緯**	34° 47′ 9.1066″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2019年 12月 10日 ～ 2019年 12月 11日			**東経**	133° 04′ 20.6331″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 314.47m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 30°	**使用機種**	
総削孔長	5.00m							**試錐機**	YBM　YBM-05D
								エンジン	ヤンマー　NFD-7
								ポンプ	安田工業　TAP-120

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	313.92	0.55		礫混じりシルト		暗褐			新生代第四紀	表土に相当する有機質な細粒土。φ10mm以下の細礫・中礫を少量含む。
1	313.37	1.10		礫混じりシルト質砂		黄褐				φ30～50mmの礫分を含む。基質はシルト質の粗砂。崖錐堆積物に相当する。
2	311.97	2.50		風化安山岩		淡青灰～黄灰			中生代白亜紀	1.10～1.23m間は貫入試験を受け付け，局所的にはDH級に相当する。以深，短柱状～岩片状コアからなる。弱い風化色を伴った部分がある。岩片は硬質～中硬質である。割れ目沿いに砕片化と土砂化を伴う。【CL級岩盤に相当する】
3				安山岩		淡青灰				短柱状～柱状コアを呈す。割れ目は多いが，岩盤状況は安定している。岩片は新鮮で硬い。割れ目に沿って砕片化を伴うことがあるが，密着様にあるものも少なくない。【CM級岩盤に相当する】
4										
5	309.47	5.00								
6										

孔内水位／測定月日：12/11 3.20

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
115	1.10	32	18	30	50/130	130	
	1.23						
	2.00	貫入不能			50/0		
	2.00						
	3.00	貫入不能			50/0		
	3.00						
	4.00	貫入不能			50/0		
	4.00						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12/10
					12/11